

エコネット城南

6月号 (180号)

【行政広報】

城南衛生管理組合は宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政を推進するための特別地方公共団体(一部事務組合)です。

編集発行 城南衛生管理組合 総務課

2015年(平成27年)6月2日/毎月第1火曜日発行

〒614-8511 京都府八幡市八幡沢1番地 TEL 075-631-0772 FAX 075-631-7296
HPアドレス <http://www.jyonaneikan.jp> eメール info@jyonaneikan.jp

*パソコンで「声のエコネット城南」(声の広報)を聴くことができます。詳しくは組合ホームページをご覧ください

6月は環境月間です

捨てるにはもつたいたない衣服をリユースで有効活用してみませんか

エコ・ポート長谷山では、リユース(再利用)事業の一環として、住民の皆さんから不要になった衣服を引き取り、提供しています。平成17年から始めたこの事業では、これまで延べ5万点ほどの衣服をお譲りいただきました。現在、衣服提供コーナーには、衣替えの完了した夏服が並び、紳士服・婦人服・子供服と、約500点の豊富な種類の衣服がコーナーを飾っています。



▲洋服がどれでも一枚100円! お気に入りを探してみは?

衣服の提供は、水・木曜日を除く10時~16時に、エコ・ポート長谷山で行っています。



▲色とりどりの着物が羽織が一枚500円!



幅広い種類を取り揃え
婦人服は、ブラウスやスカートなど、普段着られる服から、色とりどりの着物・羽織を、紳士服は、カッターシャツ、スーツ、ジャケットなど多数、そして、子供服は見やすいようにサイズごとに整理し、豊富なサイズの洋服を取り揃えています。洋服はどれも一枚100円、着物は500円でお持ち帰りいただくことができます。

引き取りを受けています

また、月に一回、太陽が丘近くにある折居清掃工場でも、衣服の提供を行っています。(裏面参照)



もつたいたないと思われたら、是非お譲りください。直接持ち込んでいただけるほか、毎月先着順で訪問引き取りも行っていきます。(裏面参照) 6月の環境月間を機会に、衣服をリユースしながらエコについて考えてみてください。

*お譲りいただく衣服・着物は着られるものに限りませす/洗濯して適当な大きさに束ね、透明のビニール袋に入れてください/ボタンやベルトなどは取り除かず、ツイースなどはセットが離れないようにしてください/下着・ぬれた物・汚れた物は引き取れません/エコ・ポート長谷山、折居清掃工場、クリンピア沢(本庁)に直接お持ち込みいただくことができます(エコ・ポートは水・木曜日を除く10時~16時。折居・沢は平日の8時30分~17時)

環境月間について

国連では、6月5日を「世界環境デー」と定め、日本では、「環境基本法」(平成5年)で「環境の日」と定めています。環境基本法では、環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるとい趣旨を明らかにしています。我が国では、環境省の主旨により、平成3年度から6月の一カ月間を「環境月間」とし、全国で環境保全活動に関する様々な行事が行われています。

環境川柳募集

今月の環境月間に合わせ、環境に関する川柳を募集します。ごみのことや温暖化、エコについてなど、環境について感じることや考えたことを自由に5・7・5音で川柳にしてください。

ご応募いただいた作品の中から審査を行い、優秀作品を決定し、記念品を贈呈します。

なお、優秀作品については、広報紙、ホームページにて発表します。

info@jyonaneikan.jp

▼応募方法 住所・氏名(ペンネーム)・年齢・電話番号・解説を明記して、はがきかEメールでお送りください。(一人3句まで応募可)

▼対象 宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町にお住まいの方

▼締め切り 7月31日(金) 当日消印有効

▼あて先 〒614-8511 八幡市八幡沢1番地 城南衛生管理組合 総務課 広報情報係 Eメール info@jyonaneikan.jp

管内42校の小学4年生が社会見学

4月から6月にかけて、管内の小学4年生が環境学習のため、当組合の施設に社会見学に来られます。資源ごみ処理施設の「エコ・ポート長谷山」では、缶・びん・ペットボトルなどの資源ごみが手作業で選別される様子やリサイクル工房を見学します。また、可燃ごみ処理施設の「クリーン21長谷山」では、ごみをためるごみピットや、ごみをつかむごみクレーンを見ながら、可燃ごみの処理について学習し、施設で行っているごみ発電についても学びます。

小学生には、実際に目で見て管内から運ばれてくるごみの量を実感してもらい、ごみを減らすこと、資源を大切にすることを伝えています。



